【2022年度 東罐興業グループ 環境パフォーマンスデータ】

東罐興業グループでは全体の物質収支の把握に努め、環境負荷の低減に取り組んでいます。

《環境面からの物質フロー》

INPUT

■ 原材料

紙コップ用･紙器･段ボール
- 原紙 …… 393,878t

樹脂製品（含む紙コップ用樹脂）
- 原料 …… 23,684t

溶剤･インキ …… 1,671t

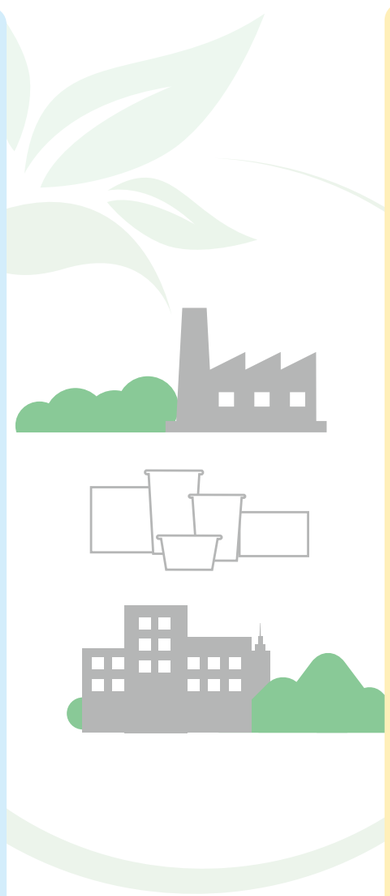
包装材
- 紙類 …… 8,926t
- 樹脂類 …… 828t

■ エネルギー

- 電力（買電）…… 145,462MWh
- 重油･灯油 …… 2kℓ
- LPG …… 393t
- 都市ガス …… 7,021千m³
- 用水（上水･工水･地下水）…… 351千m³
- 蒸気 …… 14,340,608MJ
- 太陽光発電 …… 308MWh

■ 化学物質取扱量（国内のみ）

取扱量 …… 297.0t



OUTPUT

■ 環境負荷物質

- CO_2 …… 78,008t-CO_2
  - （燃料由来 16,941t-CO_2）
  - （電力由来 59,523t-CO_2）
  - （蒸気由来 860t-CO_2）
  - （エネルギー以外 683t-CO_2）

■ 化学物質（国内のみ）

- 排出量 …… 1.9t
- 移動量 …… 49.4t

■ 製品

- 紙製品 …… 344,177t
  （紙コップ（含む樹脂ラミ）･紙器･段ボール）
- 樹脂製品 …… 14,605t

■ 排水量

- 排水量 …… 288千m³

■ 物流における二酸化炭素

- 排出量 …… 12,058t-CO_2

■ 排出物

- 総排出量 …… 60,655t
- リサイクル率 …… 99.85%
- マテリアルリサイクル率 …… 98.21%

組　織

東罐興業 株式会社

日本トーカンパッケージ株式会社、東罐興産株式会社、東罐高山株式会社

東罐ロジテック株式会社 、サンナップ株式会社 、株式会社尚山堂、

TAIYO PLASTIC CORPORATION OF THE PHILIPPINES、

东罐（常熟）高科技容器有限公司

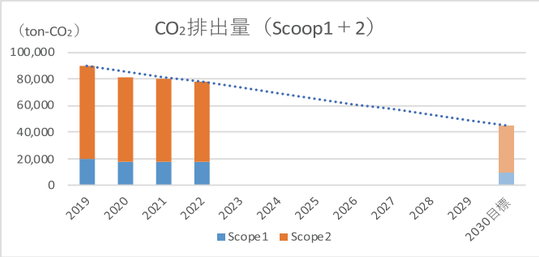
東洋製罐グループでは2050年のカーボンニュートラル実現に向けて取り組みを強化するため、2021年11月に「Eco Action Plan 2030 (EAP2030)」の目標値を改定しました。
東罐興業でもEAP2030実現に向けた具体的な計画と目標の進捗管理に取り組みました。

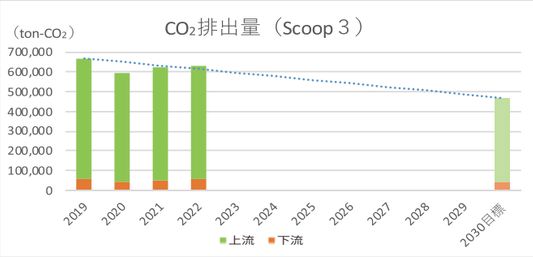
Eco Action Plan 2030 (EAP2030)

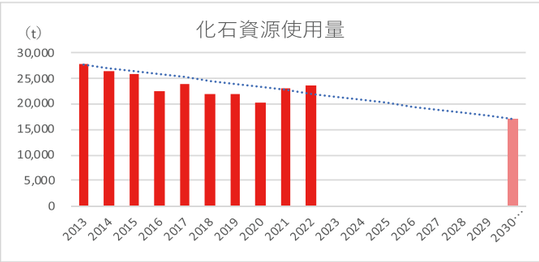
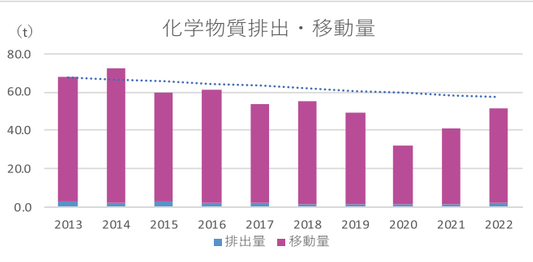
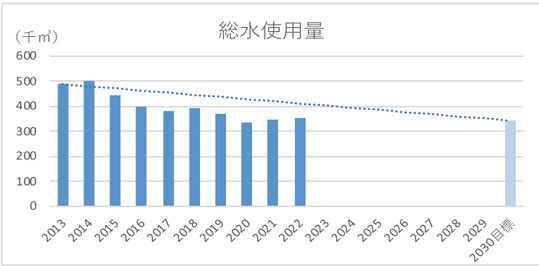
2022年4月1日時点

環境ビジョン	2030年度　中期目標（基準年は2013年度）
CO_2排出量を大幅に削減する「脱炭素社会」	①事業活動でのCO_2排出量（Scope1,2）を50%削減［2019年度比］ ②サプライチェーンでのCO_2排出量（Scope3）を30%削減［2019年度比］
限りある資源を有効に活用する「資源循環社会」	①枯渇性資源*1の使用量を30%削減 ②プラスチック製品については化石資源*2の使用量を40%削減 ・プラスチック製品の軽量化、素材転換により15%削減 ・再生材、植物由来樹脂の利用率を30%向上 ③全ての容器包装製品をリサイクル可能またはリユース可能に
自然からの恵みを受け続けることができる「自然共生社会」	①環境リスク・環境汚染物質の低減 ・PRTR法に関する物質の排出・移動量を2022年までに15%削減 ②生物多様性の保全を推進 ・事業活動での水使用量を30%削減 ③外部コミュニケーション活動の推進 ・海洋プラスチック問題解決に向けた対応（散乱防止）と情報公開

＊1枯渇性資源：自然のプロセスにより、人間などの利用速度以上には補給されない天然資源　＊2化石資源：石油・天然ガスなど







プラスチック資源循環促進法に基づきプラスチック使用量の削減に努めていきます。